



岡山労災病院

DI ニュース 4 月号



院内新規採用薬

薬品名	効能・効果
イノソリッド配合経腸用半固形剤 (用時購入)	一般に、手術後患者の栄養保持に用いることができるが、特に長期にわたり、経口的食事摂取が困難な場合の経管栄養補給に使用する。
フェンタニル注射液 0.25mg「テルモ」 (用時購入)	①全身麻酔、全身麻酔における鎮痛②局所麻酔における鎮痛の補助③激しい疼痛(術後疼痛、癌性疼痛など)に対する鎮痛
メグルダーゼ静注用 1000(用時購入)	メトトレキサート・ロイコボリン救済療法によるメトトレキサート排泄遅延時の解毒

「院外専用」採用薬……なし

後発品への変更

先発品名	後発品名	効能・効果
アバプロ錠 100mg(院内・院外)・200mg(院外)	イルベサルタン錠 100mg・200mg「DSPB」	高血圧症
アボルブカプセル 0.5mg(院内・院外)	デュタステリドカプセル 0.5mgAV「武田テバ」	前立腺肥大症
アラミスト点鼻液 27.5 μ g56 噴霧用(院内・院外)・120 噴霧用(院外)	フルチカゾンフランカルボン酸エステル点鼻液 27.5 μ g「武田テバ」56 噴霧用・120 噴霧用	アレルギー性鼻炎
ケアラム錠(院外)	イグラチモド錠 25mg「あゆみ」	関節リウマチ

※院外は「先発品」と「後発品」の両方処方できます

医薬品の供給について

①販売中止

薬品名	採用区分	理由	予定時期	経過措置満了	代替薬
アモキシサンカプセル25mg	院外	出荷停止後の再開見込みが立たない	2025年2月		なし
キシロカイン液「4%」20mL	院内	包装規格一部集約	2025年5月頃	—	キシロカイン液「4%」100mL
ジソピラミドリン酸塩徐放錠150mg「トーフ」	院外	需要状況	2025年9月	2026年3月31日	リスモダンR錠150mg
テトラビック皮下注シリンジ	院内		2025年7月	—	クイントバック水性懸濁注射用（5種混合ワクチン）
メコバラミン注射液500μg「トーフ」	院内	原材料価格の高騰	2025年8月	2026年3月31日	メコバラミン注500μg「NP」

②出荷停止

薬品名	採用区分	理由	予定時期	再開予定時期	代替薬
ミオコールスプレー0.3mg	院内・院外	噴霧不良の懸念がある部品破損	2025年3月	未定	なし

③限定出荷

薬品名	採用区分	理由	開始時期	再開予定時期	代替薬
アドエア100ディスカス60吸入用	院外	アルミ包装生産の遅れ	2025年2月	未定	アドエア100ディスカス28吸入用
エンレスト錠100mg	院内・院外	需要増加	2025年3月3日	2025年4月1日	なし
エンレスト錠200mg	院外	需要増加	2025年3月3日	2025年4月1日	なし
セルセプトカプセル250	院内（患者限定）・院外（患者限定）	他社製品の影響	2025年2月	未定	セルセプトカプセル250（英字標記カプセル）
ハイカムチン注射用1.1mg	院内	輸入遅延	2025年2月	未定	なし

④供給再開

薬品名	採用区分	再開時期
アイピーディカプセル50	院外	2025年2月21日
ガーダシル水性懸濁筋注シリンジ	院内	2025年2月3日

2025年3月末で経過措置満了の医薬品について

経過措置満了の薬品名	採用区分	代替薬・販売名変更後の薬品名
10%アプレゾリン散「SUN」	院外	削除（GEなし）
l-メントール「ホエイ」	院外	l-メントール「ケンエー」
アカルボースOD錠50mg・100mg「NIG」	院外	アカルボース錠50mg・100mg「NIG」（普通錠）
アナストロゾール錠1mg「日医工」	院内・院外	アナストロゾール錠1mg「DSEP」
アブレース錠100mg	院外	削除（GEなし）
イトリゾール内用液1%	院外	イトラコナゾール内用液1%「VTRS」
イノレット30R注	院外	削除
カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム散10%「日医工」	院内・院外	アドナ散10%

経過措置満了の薬品名	採用区分	代替薬・販売名変更後の薬品名
乾燥まむし抗毒素「KMB」	院内	乾燥まむしウマ抗毒素注射用6000単位「KMB」（名称変更）
クレメジンカプセル200mg	院外	削除（GEなし）
クロモグリク酸Na点鼻液2%「トーワ」	院内・院外	削除（代替同成分なし）
コレミナル錠4mg	院外	削除（代替同成分なし）
コロネル錠500mg	院内・院外	ポリフル錠500mg
シプロフロキサシン点滴静注200mg/100mL「明治」	院内	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「NP」又は400mg「ニプロ」 (200mg「NP」はいずれの卸も取り寄せ対応。400mg「ニプロ」の在庫はある。採用継続の必要性も含め検討必要)
ジメリン錠250mg	院外	削除（GEなし）
シュアポスト錠0.25mg	院外	レパグリニド錠0.25mg「サワイ」
シンメトレル細粒10%	院外	アマンタジン塩酸塩細粒10%「サワイ」
スベニールディスポ関節注25mg	院内	アルツディスポ関節注25mg
スルピリン注射液250mg「日医工」	院内	削除（代替同成分なし）
タペンタ錠25mg・100mg	院内・院外	削除（代替なし）
チアプリド錠25mg「日医工」	院内・院外	チアプリド錠25mg「NIG」（共同購入）
デカドロンエリキシル0.01%	院内・院外	デキサメタゾンエリキシル0.01%「日新」（共同購入）
デトルシールカプセル2mg・4mg	院外	削除（GEなし）
ドレニゾンテープ4 μ g/cm ²	院外	削除（GEなし）
ナーブロック筋注2500単位	院内	削除
ネリゾナソリューション0.1%	院外	削除（GEなし）
ノボラピッド注イノレット	院外	削除
バイエッタ皮下注5 μ g・10 μ gペン300	院外	削除
バイシリンG顆粒40万単位	院外	削除（GEなし）
パキシル錠5mg・10mg	院外	パロキセチン錠5mg・10mg「サワイ」（共同購入）
ビソルボン吸入液0.2%	院外	ブロムヘキシン塩酸塩吸入液0.2%「タイヨー」
フェルビナクパップ140mg「ラクール」	院外	セルタッチパップ140（先発のみ）
フェロン注射用300万	院内	削除
ブロニカ錠80	院外	削除（GEなし）
ベハイド錠4mg	院内・院外 （どちらも患者限定）	削除
ベプレオ注射用5mg	院内	削除（GEなし）
ミリステープ5mg	院外	削除（GEなし）
ムコサル錠15mg	院内・院外	アンブロキシール錠15mg「トーワ」

経過措置満了の薬品名	採用区分	代替薬・販売名変更後の薬品名
ユーパスタコーワ軟膏	院外	ユーパスタ軟膏（名称変更）
ユニフィルLA200mg	院外	テオフィリン徐放U錠200mg「トーワ」
ユニフィルLA400mg	院内・院外	テオフィリン徐放U錠400mg「トーワ」
リクスミア皮下注300	院外	削除
リクラスト点滴静注液5mg（瓶）	院内	リクラスト点滴静注液5mg（袋）
レキサルティ錠1mg	院外	レキサルティOD錠1mg
レキサルティ錠2mg	院内・院外	レキサルティOD錠2mg
レベミル注イノレット	院外	削除

使用上注意の改訂（DSU医薬品安全対策情報より、重要以上で主なもの）

薬品名	改訂箇所	改訂内容
トルリシティ皮下注アテオス	重大な副作用（追記）	肝機能障害
テセントリク点滴静注、パベンチオ点滴静注	重大な副作用（追記）	免疫性血小板減少症
タフィンラーカプセル、メキニスト錠	重大な基本的注意（追記）	好中球減少症、白血球減少症があらわれることがあるので、本剤投与中は定期的に血液検査を実施するなど観察を十分に行うこと。
	重大な副作用（追記）	好中球減少症、白血球減少症

承認情報

薬品名	承認内容
トレムフィア皮下注100 mgシリンジ	中等症から重症の潰瘍性大腸炎の維持療法（既存治療で効果不十分な場合に限る）を効能・効果とする新効能・新用量医薬品
リツキサン点滴静注100 mg・500 mg	ネフローゼ症候群（頻回再発型あるいはステロイド依存性）を効能・効果とする新効能・新用量医薬品
プレバイミス錠240 mg	①臓器移植におけるサイトメガロウイルス感染症の発症抑制を効能・効果とし、小児用量を追加する新用量・剤形追加に係る医薬品②同種造血幹細胞移植におけるサイトメガロウイルス感染症の発症抑制を効能・効果とし、小児用量を追加する新用量・剤形追加に係る医薬品【希少疾病用医薬品（②のみ）】
デュピクセント皮下注300 mgシリンジ・ペン	慢性閉塞性肺疾患（既存治療で効果不十分な患者に限る）を効能・効果とする新効能・新用量医薬品
オテズラ錠10 mg・20 mg・30 mg	局所療法で効果不十分な掌蹠膿疱症を効能・効果とする新効能医薬品
ベネクレクタ錠10 mg・50 mg・100 mg	再発又は難治性のマントル細胞リンパ腫を効能・効果とする新効能・新用量医薬品【希少疾病用医薬品】
イミフィンジ点滴静注120 mg・500 mg	限局型小細胞肺癌における根治的化学放射線療法後の維持療法を効能・効果とする新効能・新用量医薬品【希少疾病用医薬品】
ライブリバント点滴静注350 mg	EGFR遺伝子変異陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌を効能・効果とする新効能・新用量医薬品

以上

2025年4月 DI室



岡山労災病院

D I ニュース 5 月号



院内新規採用薬

薬品名	効能・効果
アウイクリ注フレックスタッチ総量 300 単位 (用時購入)	インスリン療法が適応となる糖尿病
マンジャロ皮下注 2.5mg・5mg アテオス (用時購入)	2 型糖尿病
ラスビック点滴静注キット 150mg (用時購入)	肺炎、肺膿瘍、慢性呼吸器病変の二次感染

「院外専用」採用薬

薬品名	効能・効果
アリッサ配合錠	月経困難症
ゼップバウンド皮下注 2.5mg・ 5mg・7.5mg・10mg・12.5mg・15mg アテオス	肥満症。ただし、高血圧、脂質異常症又は 2 型糖尿病のいずれかを有し、食事療法・運動療法を行っても十分な効果が得られず、以下に該当する場合に限る。
マンジャロ皮下注 7.5mg・10mg・ 12.5mg・15mg アテオス	2 型糖尿病

採用中止薬

薬品名	効能・効果	理由
レベミル注フレックスペン (院外は処方できます)	インスリン療法が適応となる糖尿病	アウイクリ注フレックスタッチ総量 300 単位採用時の削除薬
シプロフロキサシン点滴静注 200mg/100mL「明治」	敗血症、肺炎 等	ラスビック点滴静注キット 150mg 採用時の削除薬
PPSB-HT 静注用 500 単位「タケダ」	血液凝固第Ⅸ因子欠乏患者の出血傾向を抑制する	オンデキサ静注用 200mg を採用したため在庫消尽後削除

医薬品の供給について

①販売中止

薬品名	採用区分	理由	予定時期	経過措置満了	代替薬
ポビドンヨードゲル10% 「VTRS」	院内・院外	安定供給体制の構築並び に生産効率の改善	2025年11月	—	ポビドンヨードゲル10%「ケン エー」

②出荷停止

薬品名	採用区分	理由	予定時期	再開予定時期	代替薬
ストラテラカプセル10mg・ 25mg	院内院外 (患者限定)	ニトロソアミン類の混入 リスクに対する自主点検	2025年7月	未定	検討中
ストラテラカプセル40mg	院外	ニトロソアミン類の混入 リスクに対する自主点検	2025年4月	未定	検討中
エルカトニン注40単位「TBP」	院内	原薬の入手が困難	2025年6月	未定	検討中
注射用サイメリン50mg	院内	原薬と製剤の製造中止	2025年12月	未定	なし

③限定出荷 なし

④供給再開

薬品名	採用区分	再開時期
リスモダンカプセル50mg	院内・院外	2025年4月7日
リスモダンカプセル100mg	院外	2025年4月7日

お知らせ

【 ミオコールスプレー0.3mg の出荷停止及び在庫について 】

出荷前の一部製品に噴霧不良の懸念がある部品破損が確認され、現在出荷停止となっています。
ミオコールスプレーの4月11日時点での院内の在庫は6本(救急外来・RI室・ICU・5Fグリーン病棟・内視
鏡室・薬剤部の各1本ずつ)です。今後状況によっては、定数在庫を救急外来・薬剤部のみにすることも
考えています。
在庫消尽時にはニトロペン舌下錠での対応をお願いします。

【 ジゴキシシン錠 0.25mg「AFP」(院内・院外)の自主回収について 】

有効期間5年として出荷したロットの安定性モニタリング(5年目)において、溶出試験が承認規格に適合
しない結果が得られました。使用期限内に溶出性が承認規格を逸脱する可能性が否定できない有効期
間 5 年のロットについて、自主回収となりました。溶出性が遅いことにより有効成分の体内の吸収に
遅れが生じる可能性は考えられますが、含量は規格値内であることから、有効性、安全性への影響は
極めて低く、重篤な健康被害が発生するおそれはないとのことです。これまでに本件に起因する健康被
害の報告はありません。
院内に該当ロットはありませんでした。

【 ブロムヘキシン塩酸塩注射液 4mg「タイヨー」(院内)の自主回収について 】

製造プロセスの適格性再評価を行った際、アンプル充填工程の初期区分の一部製品において、有効成分の含量が規格下限を下回る事象が認められました。これまで出荷した製品においても同じ事象が発生している可能性が否定できないため、2025 年 3 月3 日までに出荷された使用期限内のすべての製品について自主回収となりました。今回の事象によって重篤な健康被害が発生するおそれはないとのことです。また、現在までに本件に起因すると考えられる健康被害の報告はありません。

院内に該当ロットがありました。回収済みです。

【 沈降破傷風トキソイド「生研」(院内)の自主回収について 】

安定性モニタリング試験の結果、保存剤として添加しているチメロサールの濃度が承認規格を下回っていることが確認されたため、自主回収となりました。製造工程の無菌性は適切に管理されており、製品の無菌性は保証されていること、また、チメロサール含量の規格値との差異は僅かであることから、有効性及び安全性への影響はないと考えられています。現在までに、本件に起因すると考えられる健康被害は報告されていません。

院内に該当ロットはありませんでした。

使用上注意の改訂（DSU医薬品安全対策情報より、重要以上で主なもの）

薬品名	改訂箇所	改訂内容
イクスタンジ錠	禁忌 (一部改訂)	ドラビリン、エンシトレルビルフマル酸、レナカパビルナトリウム、ニルマトレルビル・リトナビルを投与中の患者
パキロビッド パック 300・600	併用禁忌 (一部改訂)	フェニトイン、ホスフェニトインナトリウム水和物、フェノバルビタール、メペンゾラート臭化物・フェノバルビタール、リファンピシン、エンザルタミド、セイヨウオトギリソウ（St.John's Wort、セント・ジョーンズ・ワート）含有食品

以上

2025年5月 DI室



岡山労災病院

D I ニュース 6 月号



院内新規採用薬

薬品名	効能・効果
モビプレップ配合内用剤	大腸内視鏡検査、大腸手術時の前処置における腸管内容物の排除

「院外専用」採用薬

薬品名	効能・効果
オラビ錠口腔用 50mg	カンジダ属による口腔咽頭カンジダ症
クービビック錠 25mg・50mg	不眠症
コムレクス耳科用液 1.5%	外耳炎、中耳炎
ツムラ苓桂朮甘湯エキス顆粒 (医療用)	めまい、ふらつきがあり、または動悸があり尿量が減少するものの次の諸症：神経質、ノイローゼ、めまい、動悸、息切れ、頭痛

後発品への変更

先発品名	後発品名	効能・効果
アイファガン点眼液 0.1% (院内・院外)	ブリモニジン酒石酸塩点眼液 0.1%「SEC」	緑内障、高眼圧症
アボルブカプセル 0.5mg (院内・院外)	デュタステリド錠 0.5mgAV「DSEP」(「武田テバ」販売中止のためメーカー変更)	前立腺肥大症
エビプロスタット配合錠 DB (院内・院外)	エルサメット S 配合錠	前立腺肥大に伴う排尿困難、残尿及び残尿感、頻尿
ザイザル錠 5mg (院内・院外)	レボセチリジン塩酸塩錠 5mg「武田テバ」	アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、湿疹・皮膚炎、痒疹、皮膚そう痒症
ザルティア錠 5mg (院外)	タダラフィル錠 5mgZA「シオエ」	前立腺肥大症に伴う排尿障害
ムコスタ点眼液 UD2% (0.35mL/本) (院内・院外)	レバミピド懸濁性点眼液 2%「参天」(5mL/本)	ドライアイ

※院外は「先発品」と「後発品」の両方処方できます

医薬品の供給について

①販売中止 なし

②出荷停止

薬品名	採用区分	理由	予定時期	再開予定時期	代替薬
MS冷シップ「タカミツ」	院内・院外	製造上のトラブル	2025年4月	未定	MS冷シップ「タイハウ」
ケナコルトA筋注用関節腔内用水 懸注40mg/1mL	院内	新製造ラインの適格性評価に関連した調査	2025年7月	未定	なし
ハイカムチン注射用1.1mg	院内	製造に関する逸脱	2025年5月初旬	未定	なし
ラクリミン点眼液0.05%	院外	震災後の生産数量の減少	2025年6月末	未定	なし

③限定出荷

薬品名	採用区分	理由	開始時期	再開予定時期	代替薬
ケナコルトA皮内用関節腔内用水 懸注50mg/5mL	院内	新製造ラインの適格性評価に関連した調査	2025年4月	未定	なし
ニゾラルクリーム	院内・院外	他社製品の影響	2025年4月	未定	
ミコブティンカプセル150mg	院内（用時）・ 院外	品質試験の不適合	2025年4月25日	2025年6月上旬	なし

④供給再開

薬品名	採用区分	再開時期
ソル・コーテフ注射用100mg （一時的）	院内	2025年4月9日～6月下旬頃
アーテン錠・アーテン散1%	院外	2025年4月23日
アザシチジン注射用100mg・ 150mg「NK」	院内	2025年4月14日
フリュザクラカプセル1mg・ 5mg	院外	2025年5月上旬～中旬
マキューイド眼注用40mg	院内	2025年4月下旬

お知らせ

【 ルセンティス硝子体内注射用キット 10mg/mL の品質情報 】

プレフィルドシリンジの標線位置が異なるものが、海外において5件報告されています。報告されたシリンジでは投与量を調整するための標線位置が本来の位置よりもルアーロック側に近くなっていました。報告されたロットは日本へは出荷されていませんが、同じ種類のシリンジは日本で出荷済みのものにも使用されていました。標線位置がずれているものを使用した場合、製品の過少投与となり、次の投与が予定より早期に必要なことになることによる患者の負担増加又は効果減少により、患者に潜在的リスクをもたらす可能性があると考えられています。今回の症例を検討した結果、標線位置のずれによる効果の減少に関連した有害事象は確認されていません。

承認情報

薬品名	承認内容
タグリッソ錠40 mg・80 mg	EGFR遺伝子変異陽性の切除不能な局所進行の非小細胞肺癌における根治的化学放射線療法後の維持療法を効能・効果とする新効能医薬品
キイトルーダ点滴静注100 mg	切除不能な進行・再発の悪性胸膜中皮腫を効能・効果とする新効能医薬品
セムブリックス錠20 mg・40 mg	慢性骨髄性白血病を効能・効果とする新効能・新用量医薬品
ライブリバント点滴静注350 mg	EGFR遺伝子変異陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌を効能・効果とする新用量医薬品

以上

2025 年 6 月 DI 室



岡山労災病院

DI ニュース 7 月号

院内新規採用薬

薬品名	効能・効果
アイリーア 8mg 硝子体内注射用キット 114.3mg/mL(用時購入)	中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性、糖尿病黄斑浮腫
イムデトラ点滴静注用 1mg・10mg (用時購入)	がん化学療法後に増悪した小細胞肺癌
バビースモ硝子体内注射用キット 120mg/mL (用時購入)	①中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性②糖尿病黄斑浮腫③網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫④脈絡膜新生血管を伴う網膜色素線条
フェスゴ配合皮下注 IN・MA	①HER2 陽性の乳癌②がん化学療法後に増悪した HER2 陽性の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌
ライブリバント点滴静注 350mg (用時購入)	EGFR 遺伝子エクソン 20 挿入変異陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌、EGFR 遺伝子変異陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌
ラズクルーズ錠 80mg・240mg (用時購入)	EGFR 遺伝子変異陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌
ランマーク HI 皮下注 120mg シリンジ 1.0mL	①多発性骨髄腫による骨病変及び固形癌骨転移による骨病変②骨巨細胞腫

「院外専用」採用薬……なし

採用中止薬

薬品名	効能・効果	理由
アイリーア 8mg 硝子体内注射液 114.3mg/mL(バイアル)	加齢黄斑変性、糖尿病黄斑浮腫	アイリーア 8mg 硝子体内注射用キット 114.3mg/mL 採用時の削除薬
バビースモ硝子体内注射液 120mg/mL(バイアル)	中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性等	バビースモ硝子体内注射用キット 120mg/mL 採用時の削除薬
ランマーク皮下注 120mg(バイアル)	多発性骨髄腫による骨病変及び固形癌骨転移による骨病変等	ランマーク HI 皮下注 120mg シリンジ 1.0mL 採用時の削除薬

後発品への変更

先発品名	後発品名	効能・効果
グルファスト錠 10mg(院内・院外)	ミチグリニド Ca・OD 錠 10mg「三和」	2 型糖尿病
セララ錠 25mg(院外)・50mg(院内・院外)	エプレレノン錠 25mg「杏林」・50mg「杏林」	高血圧症 等
ピレスパ錠(院内用時・院外)	ピルフェニドン錠 200mg「日医工」	特発性肺線維症
ベプリコール錠 50mg(院外)	ベプリジル塩酸塩錠 50mg「TE」	持続性心房細動・頻脈性不整脈(心室性) 等
メトグルコ錠 250mg(院内・院外)・500mg(院外)	メトホルミン塩酸塩錠 250mgMT「DSPB」・500mgMT「DSPB」	2 型糖尿病 等

※院外は「先発品」と「後発品」の両方処方できます

医薬品の供給について

①販売中止

薬品名	採用区分	理由	予定時期	再開予定時期	代替薬
ジクロフェナクNaゲル1%「日本臓器」	院内・院外	諸般の事情	2025年10月	－	ジクロフェナクNaゲル1%「ラクール」
ラコールNF配合経腸用半固形剤	院外	諸般の事情	2025年11月	－	イノソリッド配合経腸用半固形剤
ランドセン細粒0.1%	院内・院外	諸般の事情	2026年1月	－	リボトリール細粒0.1%

②出荷停止

薬品名	採用区分	理由	予定時期	再開予定時期	代替薬
イルソグラジンマレイン酸塩錠2mg「NIG」	院内・院外	原薬の製造中止	2025年9月	2026年3月	イルソグラジンマレイン酸塩錠2mg「日医工」
セバゾン錠1mg	院外	原薬入荷遅延	2025年5月	未定	なし

③限定出荷

薬品名	採用区分	理由	開始時期	再開予定時期	代替薬	備考
シムビコートタービュヘイラー60吸入	院内・院外	他社製品の影響	2025年5月7日	未定	なし	
セバゾン錠2mg	院内(患者限定)	原薬入荷遅延	2025年5月	未定	なし	
ミオコールスプレー0.3mg	院内・院外	噴霧不良の懸念がある部品破損	2025年4月16日	－	ニトロペン舌下錠0.3mg	出荷停止→限定出荷

④供給再開

薬品名	採用区分	再開時期
カデックス軟膏0.9%	院内・院外	2025年3月27日
シングレア錠10mg・OD錠10mg	院外	2025年5月初旬
ポプスカイン0.5% 50mg/10mL	院内	2025年6月3日

使用上注意の改訂（DSU医薬品安全対策情報より、重要以上で主なもの）

薬品名	改訂箇所	改訂内容
ダイアモックス末・錠・注射用	重要な基本的注意（追記）	急性近視、閉塞隅角緑内障、脈絡膜滲出があらわれることがあるので、急激な視力の低下や眼痛等の異常が認められた場合には、直ちに眼科医の診察を受けるよう、患者に指導すること。
	重大な副作用（追記）	〔急性近視、閉塞隅角緑内障、脈絡膜滲出〕薬剤性緑内障の治療に本剤を使用した海外症例において、視力低下、閉塞隅角緑内障の増悪、脈絡膜滲出があらわれたとの報告がある。また、白内障手術前後の眼圧調整等に本剤を使用した海外症例において、急性近視（霧視、視力低下等を含む）、閉塞隅角緑内障、脈絡膜滲出があらわれたとの報告がある。急激な視力の低下や眼痛等の異常が認められた場合には、本剤に起因する可能性も考慮した上で、本剤に起因すると疑われるときは本剤を中止するなど適切な処置を行うこと。
トリクロルメチアジド錠「NP」、フルイトラン錠、バイカロン錠	臨床使用に基づく情報（新設）	他のチアジド系薬剤において、急性近視、閉塞隅角緑内障、脈絡膜滲出があらわれたとの報告がある。
セララ錠	禁忌・併用禁忌（一部改訂）	イトラコナゾール、ポリコナゾール、ポサコナゾール、リトナビル含有製剤及びエンシトレルビルフマル酸を投与中の患者
エカード配合錠HD、ミコンビ配合錠AP、コディオ配合錠MD・EX、プレミント配合錠LD・HD	重要な基本的注意（追記）	ヒドロクロロチアジドは急性近視、閉塞隅角緑内障、脈絡膜滲出を発現させるおそれがあるので、急激な視力の低下や眼痛等の異常が認められた場合には、直ちに眼科医の診察を受けるよう、患者に指導すること。
	重大な副作用（一部改訂）	〔急性近視、閉塞隅角緑内障、脈絡膜滲出〕急性近視（霧視、視力低下等を含む）、閉塞隅角緑内障、脈絡膜滲出があらわれることがある。
アデムパス錠	併用注意（一部改訂）	〔イトラコナゾール、ポリコナゾール〕本剤の血中濃度が上昇するおそれがある。これらの薬剤を投与中の患者に本剤の投与を開始する場合は、1回0.5mg1日3回からの開始も考慮すること。本剤を投与中にこれらの薬剤を開始する場合は、本剤の減量を考慮すること。（併用禁忌からの変更）
ドンペリドン錠「サワイ」・DS小児用「サワイ」、ナウゼリン錠・ドライシロップ・坐剤	妊婦（一部改訂）	妊婦又は妊娠している可能性のある女性には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。動物実験（ラット）で臨床用量の約65倍の投与量（体表面積換算）で骨格、内臓異常等の催奇形作用が報告されている。（禁忌からの変更）
ジカディア錠	禁忌・併用禁忌（追記）	〔ベネトクラクス（再発又は難治性の慢性リンパ性白血病（小リンパ球性リンパ腫を含む）、再発又は難治性のマントル細胞リンパ腫の用量漸増期）〕腫瘍崩壊症候群の発現が増強されるおそれがある。
ベネクレクスタ錠	禁忌・併用禁忌（追記）	セチリニブ

ミチーガ皮下注 用バイアル・シ リンジ	重大な副作用 (追記)	〔類天疱瘡〕水疱、びらん等があらわれることがある。
ノクサフィル錠・ 点滴静注	禁忌・併用禁忌 (追記)	エプレレノン
ブイフェンド錠・ 静注用、ポリコ ナゾール錠 「DSEP」	禁忌・併用禁忌 (追記)	エプレレノン
	併用注意 (追記)	リオシグアト
イトラコナゾー ル内用液 「VTRS」、イトラ コナゾール錠 「日医工」、イト リゾールカプセ ル	併用注意 (追記)	リオシグアト(併用禁忌からの変更)

承認情報

薬品名	承認内容
アネレム静注用50 mg	消化器内視鏡診療時の鎮静を効能・効果とする新効能・新用量・剤形追加・その他に係る医薬品
リアルダ錠1200 mg	潰瘍性大腸炎(重症を除く)を効能・効果とする新用量・剤形追加に係る医薬品
リンヴォック錠15 mg	既存治療で効果不十分な巨細胞性動脈炎を効能・効果とする新効能・新用量医薬品
トレムフィア皮下注100 mg シリンジ	中等症から重症の活動期クローン病の治療(既存治療で効果不十分な場合に限る)を効能・効果とする新効能・新用量に係る医薬品
ネスブ注射液30 µg・ 60 µg・ 120 µgプラシリンジ	ベルズチファン投与に伴う貧血を効能・効果とする新効能・新用量医薬品
オブジーボ点滴静注20 ・ 100 mg・120 mg・240 mg、 ヤーボイ点滴静注液20 mg・50 mg	切除不能な肝細胞癌を効能・効果とする新効能・新用量医薬品
エルレフィオ皮下注44 mg・76 mg	再発又は難治性の多発性骨髄腫(標準的な治療が困難な場合に限る)を効能・効果とする新用量医薬品【希少疾病用医薬品】

以上

2025年7月 DI室



岡山労災病院

DI ニュース 8 月号



院内新規採用薬

薬品名	効能・効果
ハイキュービア 10%皮下注セット 5g/50mL・10g/100mL・20g/200mL (用時購入)	①無又は低ガンマグロブリン血症②慢性炎症性脱髄性多発根神経炎及び多巣性運動ニューロパチーの運動機能低下の進行抑制(筋力低下の改善が認められた場合)
ブルキンザカプセル 80mg (用時購入)	慢性リンパ性白血病(小リンパ球性リンパ腫を含む)、原発性マクログロブリン血症及びリンパ形質細胞リンパ腫
プラリア HI 皮下注 60mg シリンジ 0.5mL	①骨粗鬆症②関節リウマチに伴う骨びらの進行抑制

「院外専用」採用薬

薬品名	効能・効果
アレサガテープ 4mg・8mg	アレルギー性鼻炎

採用中止薬

薬品名	効能・効果	理由
プラリア皮下注 60mg シリンジ	①骨粗鬆症②関節リウマチに伴う骨びらの進行抑制	プラリア HI 皮下注 60mg シリンジ 0.5mL 採用時の削除薬

後発品への変更

先発品名	後発品名	効能・効果
キサラン点眼液 0.005% (院内外)	ラタノプロスト点眼液 0.005%「VTRS」	緑内障、高眼圧症
アマリール錠 0.5mg(院外)・ 1mg(院内外)・3mg(院外)	グリメピリド錠 0.5mg・1mg・3mg「NC」	2 型糖尿病

※院外は「先発品」と「後発品」の両方処方できます

医薬品の供給について

①販売中止

薬品名	採用区分	理由	予定時期	経過措置満了	代替薬	備考
エダラボン点滴静注液30mgバッグ「明治」	院内	諸般の事情	2025年12月	2026年3月31日	エダラボン点滴静注液30mgバッグ「NP」	「明治」と「NP」は中身が全く同じ
クレストールOD錠2.5mg・OD錠5mg	院外	諸般の事情	2025年11月頃	2026年3月31日	ロスバスタチンOD錠2.5mg「DSEP」・OD錠5mg「DSEP」	
コバシル錠4mg	院外	諸般の事情	2025年12月末	2026年3月31日	ペリンドプリルエルブミン錠4mg「サワイ」	
フルナーゼ点鼻液50μg28・56噴霧用、小児用フルナーゼ点鼻液25μg56噴霧用	院外	諸般の事情	2025年12月	2026年3月31日	フルチカゾン点鼻液50μg「サワイ」28噴霧・56噴霧、フルチカゾン点鼻液25μg小児用「サワイ」56噴霧用	
リスモダンP静注50mg	院内	生産終了	2025年6月	2026年3月31日	なし	

②出荷停止

薬品名	採用区分	理由	予定時期	再開予定時期	代替薬	備考
エリスロシン錠200mg	院内・院外	製造委託先工場における事象	2025年6月	未定	なし	マスタは名称右へ「供給停止（在庫僅）」と記載
フスコデ配合錠	院外	製造委託先工場における事象	2025年6月	未定	なし	マスタは名称右へ「供給停止予定」と記載
ポリフル錠500mg	院内・院外	製造委託先工場における事象	2025年6月	未定	なし	マスタは名称右へ「供給停止（在庫僅）」と記載
ミネラミック注	院内	製造ラインの一時的な稼働停止	2025年7月	2025年8月中	なし	

③限定出荷

薬品名	採用区分	理由	開始時期	再開予定時期	代替薬
ガナトン錠50mg	院外	製造委託先工場における事象	2025年7月	未定	イトプリド塩酸塩錠50mg（ジェネリック多数あり）
スガマデクス静注液200mgシリンジ「マルイシ」	院内	想定を上回る注文	2025年7月1日	未定	

④供給再開

薬品名	採用区分	再開時期
アビドラソロスター	院内・院外	2025年7月1日
ジスロマック細粒小児用10%	院外	2025年6月11日
セフタジジム静注用1g「VTRS」	院内	2025年6月12日
点眼・点鼻用リンデロンA液、眼・耳科用リンデロンA軟膏	院内・院外	2025年6月27日
ブイフェンド200mg静注用	院内	2025年6月11日

使用上注意の改訂（DSU医薬品安全対策情報より、重要以上で主なもの）

薬品名	改訂箇所	改訂内容
ミニリンメルト OD 錠 25μg・50μg・60μg・ 120μg・240μg	重大な副作用 （追記）	アナフィラキシー
デスモプレシン点鼻 スプレー「フェリン グ」	合併症・既往歴 等ある患者（一 部改訂）	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者：治療上やむを得ないと判断される場合を除き、投与しないこと。アナフィラキシーが発現するおそれがある。
	重大な副作用 （追記）	アナフィラキシー
メルカゾール錠	重大な副作用 （追記）	急性膵炎：上腹部痛、背部痛、発熱、嘔吐等の症状、膵酵素異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

以上

2025年8月 DI室



岡山労災病院

D I ニュース 9 月号



新規採用薬・採用中止薬の報告

8月は薬事委員会が開催されなかったため報告事項はありません。

お知らせ

【 ファモチジン注射液20mg「トーワ」・フロセミド注20mg「トーワ」・ミネラミック注の自主回収(クラスⅡ)について 】

トブラシン注90mgにおいて、医療機関より未開封のアンプルに黒色異物が混入しているという情報があり、原因究明を実施したところ、製造に関与する機器が破損し、混入していたことが判明しました。

そのため、同様の製造ラインで製造した一部のアンプル製剤について、異物(フッ素ゴム)混入の可能性を否定できないため、自主回収となりました。

ファモチジン注射液20mg注射液「トーワ」・フロセミド注20mg「トーワ」の該当ロットは回収済みです。また、ミネラミック注の該当ロットはありませんでした。

対象製品はいずれもアンプルに入った液体であり、使用前に当該異物は容易に目視で確認できるため、そのまま使用される可能性は低いと考えられており、仮に使用された場合であっても、フッ素ゴムは化学的に不活性であるため、使用等による重篤な健康被害のおそれはまず考えられないとのことです。

なお、これまでに本件に起因すると考えられる健康被害発生は報告されていません。

これらの薬品は、自主回収後、出荷停止となっています。

代替薬は、ファモチジン注射液20mg注射液「トーワ」 → ガスター注射液20mg

フロセミド注20mg「トーワ」 → ラシックス注

ミネラミック注 → メドレニック注

です。

使用上注意の改訂 (DSU医薬品安全対策情報より、重要以上で主なもの)

薬品名	改訂箇所	改訂内容
ウーゴビ皮下注SD、オゼンピック皮下注、リベルサス錠、ゼップバウソド皮下注アテオス、マンジャロ皮下注アテオス、ソリクア配合注ソロスター	合併症・既往歴等のある患者 (追記)	腹部手術の既往又はイレウスの既往のある患者:腸閉塞を含むイレウスを起こすおそれがある。
	重大な副作用 (追記)	イレウス:腸閉塞を含むイレウスを起こすおそれがある。高度の便秘、腹部膨満、持続する腹痛、嘔吐等の異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。
ジオトリフ錠	重大な副作用 (追記)	アナフィラキシー

パベンチオ点滴静注	重要な基本的注意 (一部改訂)	肝不全、肝機能障害、肝炎、 硬化性胆管炎 があらわれることがあるので、定期的に肝機能検査を行い、患者の状態を十分に観察すること。
	重大な副作用 (一部改訂)	肝不全、肝機能障害、肝炎、 硬化性胆管炎 :肝不全、AST、ALT、 γ -GTP、ビリルビン等の上昇を伴う肝機能障害、肝炎、硬化性胆管炎があらわれることがある。
スーテントカプセル	重大な副作用 (追記)	高アンモニア血症 :肝機能異常を伴わずに、 高アンモニア血症 があらわれることがある。意識障害が認められた場合には、血中アンモニア値の測定を考慮すること。
フェソロデックス筋注	重大な副作用 (追記)	アナフィラキシー
キイトルーダ点滴静注	重大な副作用 (追記)	血管炎 : 大型血管炎 、 中型血管炎 、 小型血管炎 [抗好中球細胞質抗体(ANCA)関連血管炎 、 IgA 血管炎 を含む]があらわれることがある。

承認情報

薬品名	承認内容
ドプテレット錠20 mg	持続性及び慢性免疫性血小板減少症を効能・効果とする新効能・新用量医薬品
オブジーボ点滴静注20 mg・100 mg・120 mg・240 mg	治癒切除不能な進行・再発の高頻度マイクロサテライト不安定性(MSI-High)を有する結腸・直腸癌を効能・効果とする新効能・新用量医薬品【希少疾病用医薬品】
ヤーボイ点滴静注液20 mg・50 mg	
エンハーツ点滴静注用100 mg	ホルモン受容体陽性かつHER2低発現又は超低発現の手術不能又は再発乳癌を効能・効果とする新効能医薬品
シルガード9水性懸濁筋注シリンジ	ヒトパピローマウイルス6、11、16、18、31、33、45、52及び58型の感染に起因する以下の疾患の予防を効能・効果とする新効能医薬品 ・肛門癌(扁平上皮癌)及びその前駆病変(肛門上皮内腫瘍(AIN)1、2及び3)

以上

2025年9月 DI室



岡山労災病院

D I ニュース 10 月号



院内新規採用薬

薬品名	効能・効果
ビキセオス配合静注用 (用時購入)	高リスク急性骨髄性白血病
フルミスト点鼻液(用時購入)	インフルエンザの予防

「院外専用」採用薬

薬品名	効能・効果
エフメノカプセル 100mg	更年期障害及び卵巣欠落症状に対する卵胞ホルモン剤投与時の子宮内膜増殖症の発症抑制
ツムラ小建中湯エキス顆粒(医療用)	体質虚弱で疲労しやすく、血色がすぐれず、腹痛、動悸、手足のほてり、冷え、頻尿および多尿などのいずれかを伴う次の諸症：小児虚弱体質、疲労倦怠、神経質、慢性胃腸炎、小児夜尿症、夜なき
デエビゴ錠 2.5mg	不眠症
ブリエビアクト錠 25mg	てんかん患者の部分発作(二次性全般化発作を含む)
ベピオウォッシュジェル 5%	尋常性ざ瘡

採用中止薬

薬品名	効能・効果	理由
ゾピクロン錠 7.5mg「トーワ」	不眠症、麻酔前投薬	睡眠薬の院内採用薬が多いため
ハルシオン錠 0.25mg	不眠症、麻酔前投薬	睡眠薬の院内採用薬が多いため
ブロチゾラムOD錠 0.25mg「テバ」	不眠症、麻酔前投薬	睡眠薬の院内採用薬が多いため

※院外は処方できます

後発品への変更

先発品名	後発品名	効能・効果
デノシン点滴静注用 500mg (院内)	ガンシクロビル点滴静注用 500mg 「VTRS」	サイトメガロウイルス感染症

お知らせ

【 炭酸リチウム投与中の血中濃度測定遵守について 】

医薬品医療機器総合機構(PMDA)で、匿名医療保険等関連情報データベース(NDB)を用いた血中濃度測定実施状況に関する調査を実施した結果、調査対象集団のうち54%の患者でリチウムの血中濃度測定が一度も実施されていない可能性があります。

炭酸リチウムは、適正な血中濃度が保たれない場合、リチウム中毒に至る可能性があります。

- 「用法・用量に関連する使用上の注意」を遵守し、**定期的に血清リチウム濃度を測定して下さい。**
- 定期的な測定に加え、以下の場合は血清リチウム濃度を測定して下さい。
血清リチウム濃度を上昇させる要因が認められる場合
リチウム中毒の初期症状が認められる場合
- 患者及びその家族にリチウム中毒の可能性を説明し、中毒の初期症状があらわれた場合には医師の診察を受けるよう、指導して下さい。

参考:PMDAからの医薬品適正使用のお願いNo.7 2025年9月 炭酸リチウム投与中の血中濃度測定遵守について

【 イムデトラ点滴静注用の適正使用のお願い「サイトカイン放出症候群」について(第2版) 】

2025年4月16日のイムデトラ点滴静注用1mg、同点滴静注用10mg(以下「本剤」)の販売開始後、2025年8月15日時点でサイトカイン放出症候群として報告された国内副作用報告が268例集積しており(推定使用患者数:848例)、うち8例はGrade 3、1例はGrade 4であり、転帰死亡の症例も3例報告されています。このため、本剤の電子添文において、「警告」欄に死亡症例が報告されていることを記載し、改めて本剤によるサイトカイン放出症候群について注意喚起を行うことになりました。

また、7月28日に「適正使用のお願い「サイトカイン放出症候群」について」を発出し、転帰死亡の症例が2例報告されている旨の情報が提供されていますが、今般、製薬企業から適正使用のお願い(第2版)を発出し、3例目の転帰死亡の症例掲載とともに、本剤によるサイトカイン放出症候群の管理に関して特に留意する事項について、改めて注意喚起を行うこととなりました。

サイトカイン放出症候群については、本剤の電子添文の「警告」等の欄、製造販売業者が提供するサイトカイン放出症候群管理ガイダンスにおいて、下記の旨を注意喚起しています。本剤投与時には、特に下線の対処についてご留意ください。

- 特に治療初期は入院管理等の適切な体制下で本剤の投与を行ってください。
- サイトカイン放出症候群に対する前投与薬の投与等の予防的措置を行ってください。
- 緊急時に備えてトシリズマブ(遺伝子組換え)を速やかに使用できるように準備してください。
- 本剤の投与中は発熱、低血圧、低酸素症、疲労、頻脈、頭痛、悪寒、悪心、嘔吐等について、観察を十分に行之、異常が認められた場合には、製造販売業者が提供するサイトカイン放出症候群管理ガイダンス等に従い、副腎皮質ホルモン剤(デキサメタゾン)、トシリズマブ(遺伝子組換え)の投与等、適切な処置を行ってください。

参考:イムデトラ点滴静注用1mg・10mg 適正使用のお願い「サイトカイン放出症候群」について

2025年9月 アムジェン株式会社

医薬品の供給について

①販売中止

薬品名	採用区分	理由	予定時期	経過措置満了	代替薬
アモバン錠7.5	院外	諸般の事情	2026年11月	2027年3月31日	ゾピクロン錠7.5mg「トーワ」
キンダベート軟膏0.05%	院外	諸般の事情	2025年12月	2026年3月31日	クロベタゾン酪酸エステル軟膏0.05%「テイコク」
シオゾール注10mg・25mg	院内	諸般の事情	2025年7月	2026年3月31日	なし
デルモベートスカルプローション0.05%	院外	諸般の事情	2025年12月	2026年3月31日	検討中
デルモベート軟膏0.05%	院外	諸般の事情	2025年12月	2026年3月31日	クロベタゾールプロピオン酸エステル軟膏0.05%「MYK」
トリヘキシフェニジル塩酸塩錠2mg「タカタ」	院外	諸般の事情	2026年3月	2026年3月31日	アーテン錠2mg
パピロックミニ点眼液0.1%	院内外 (患者限定)	諸般の事情	出荷停止中	2027年3月31日	なし
ベロテックエロゾル100	院外	諸般の事情	2027年7月	2029年3月31日	なし
ポビドリンパスタ軟膏	院内外	諸般の事情	2025年10月	2027年3月31日	イソジンシュガーパスタ軟膏
ラクリミン点眼液0.05%	院外	諸般の事情	出荷停止中	2027年3月31日	なし
リボスチン点眼液0.025%	院外	諸般の事情	2026年12月	2027年3月31日	検討中
リボスチン点鼻液0.025mg112噴霧用	院内外	諸般の事情	2026年12月	2027年3月31日	なし

②出荷停止

薬品名	採用区分	理由	予定時期	再開予定時期	代替薬
エリスロシンドライシロップW20%	院外	製品の供給に継続的な遅れ	2025年9月	未定	なし
乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン「タケダ」	院内	2025年9月以降に出荷予定の原液の一部の品質試験において確認すべき事項が発生	2025年8月	未定	おたふくかぜ生ワクチン「第一三共」
カンレノ酸カリウム静注用200mg「サワイ」	院内	製造設備の不備	2025年7月末	未定	ソルダクトン静注用200mg
セファランチン注10mg	院内	製造トラブル	2025年11月下旬	未定	なし
トブラシン注60mg	院内（用時）	アンプル製剤製造ラインの一時的な稼働停止	2025年7月	2025年9月1日	なし
ハルトマン液「コバヤシ」	院内	原材料調達上の問題	2025年8月下旬	未定	ラクトリンゲル液”フソー”
ファモチジン注射液20mg「トーワ」	院内	アンプル製造ラインの一時停止	2025年8月下旬	2025年11月	ガスター注射液20mg
フロセミド注20mg「トーワ」	院内	アンプル製剤製造ラインの一時的な稼働停止	2025年7月	2025年11月1日	ラシックス注20mg
ペルサンチン錠25mg	院外	製造委託先からの供給の目途がたたない	2025年2月	未定	ジピリダモール錠25mg「JG」

薬品名	採用区分	理由	予定時期	再開予定時期	代替薬
ポリフル細粒83.3%	院内外	製品の供給に継続的な遅れ	2025年9月	未定	なし
メノエイドコンビパッチ	院外	外観が規格に適合していない	2025年7月	未定	なし

③限定出荷

薬品名	採用区分	理由	開始時期	再開予定時期	代替薬
エフメノカプセル100mg	院外	他社製品の影響	2025年7月	未定	なし
ソセゴン注射液	院内	他社製品の影響	2025年7月14日	未定	なし
沈降破傷風トキソイド「生研」	院内	品質が確認できたため	2025年7月29日	未定	破トキ「ビケン」
テタガムP筋注シリンジ250	院内	海外製造所の製造遅延	2025年8月	未定	なし
トラマドール塩酸塩OD錠25mg「KO」	院内外	想定を上回る注文	2025年7月	未定	トラマールOD錠25mg
ハイキューピア皮下注セット	院内	想定を超えた需要	2025年9月	2026年1月	なし
バクトラミン注	院内	海外製造所の製造遅延	2025年8月1日	未定	なし
ペンタサ坐剤1g	院外	一部ロットの品質試験にて問題	2025年7月	未定	なし
メドロキシプロゲステロン酢酸エステル錠2.5mg「F」	院外	他社製品の影響	2025年7月	未定	なし

④供給再開

薬品名	採用区分	再開時期
PPSB-HT静注用500単位「タケダ」	院内	2025年9月1日
エリスロシン点滴静注用500mg	院内	2025年7月3日
献血ノンスロン1500注射用	院内	2025年9月1日
ジクアス点眼液3%	院外	2025年7月1日
シムビコートタービュヘイラー60吸入	院内外	2025年8月
セルセプトカプセル250	院内外 (患者限定)	2025年7月
パルミコート吸入液0.25mg	院内外	2025年8月
パルミコート吸入液0.5mg	院外	2025年8月

使用上注意の改訂（DSU医薬品安全対策情報より、重要以上で主なもの）

薬品名	改訂箇所	改訂内容
ヤーボイ点滴静注液、オブジーボ点滴静注	重要な基本的注意（追記）	腫瘍崩壊症候群があらわれることがあるので、血清中電解質濃度測定及び腎機能検査を行うなど、患者の状態を十分に観察すること。
	重大な副作用（追記）	腫瘍崩壊症候群：異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置（生理食塩液、高尿酸血症治療剤等の投与、透析等）を行うとともに、症状が回復するまで患者の状態を十分に観察すること。
メロペナム点滴静注用「明治」	重大な副作用（一部改訂）	中毒性表皮壊死融解症（Toxic Epidermal Necrolysis：TEN）、皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson 症候群）、急性汎発性発疹性膿疱症

アジルサルタン錠「武田テバ」、アジルバ錠、ザク拉斯配合錠 HD、セタプリル錠、ラジレス錠、イミダプリル塩酸塩錠「DSEP」、タナトリル錠 5、アバプロ錠、イルベサルタン錠「DSEP」、アイミクス配合錠 LD・HD、オルメサルタン OD 錠「DSEP」、オルメテック OD 錠、レザルタス配合錠 LD・HD、カンデサルタン錠「あすか」、プロプレス錠、ユニシア配合錠 HD、エカード配合錠 HD、エンレスト錠、テルミサルタン錠、ミカルディス錠、ミカムロ配合錠 AP・BP、ミコンビ配合錠 AP、オドリック錠、ディオバン錠・OD 錠、バルサルタン OD 錠「トーワ」、エックスフォージ配合 OD 錠、コディオ配合錠 MD・EX、コバシル錠、ペリンドプリルエルブミン錠「サワイ」、ニューロタン錠、ロサルタン K 錠「トーワ」、プレミメント配合錠 LD・HD	重大な副作用 (一部改訂)	血管性浮腫：顔面、口唇、舌、咽・喉頭等の腫脹を症状とする血管性浮腫があらわれることがある。また、腹痛、嘔気、嘔吐、下痢等を伴う腸管血管性浮腫があらわれることがある。
アサコール錠、ペンタサ錠・注腸・坐剤、リアルダ錠、アザルフィジン EN 錠、サラゾスルファピリジン腸溶錠「CH」、サラゾピリン錠・坐剤	重大な副作用 (追記)	抗好中球細胞質抗体 (ANCA) 関連血管炎：発熱、倦怠感、関節痛、筋痛等の全身症状や、皮膚 (紅斑、紫斑)、肺 (血痰)、腎臓 (血尿、蛋白尿) 等の臓器症状があらわれることがある。

ヒュミラ皮下注シ リンジ・ペン	重大な副作用 (追記)	自己免疫性肝炎
--------------------	----------------	---------

承認情報

薬品名	承認内容
テセントリク点滴静注 840 mg・1200 mg	再発又は難治性の節外性NK/T細胞リンパ腫・鼻型を効能・効果とする新効能・新用量医薬品 切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌、PD-L1陽性の非小細胞肺癌における術後補助療法、PD-L1陽性のホルモン受容体陰性かつHER2陰性の手術不能又は再発乳癌、進展型小細胞肺癌を効能・効果とする新用量医薬品
セルセプトカプセル250	難治性のネフローゼ症候群（頻回再発型あるいはステロイド依存性を示す場合）を効能・効果とする新効能・新用量医薬品【事前評価済公知申請】
イミフィンジ点滴静注 120 mg・500 mg	非小細胞肺癌における術前・術後補助療法、膀胱癌における術前・術後補助療法を効能・効果とする新効能・新用量医薬品
ルマケラス錠120 mg	がん化学療法後に増悪したKRAS G12C変異陽性の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌を効能・効果とする新効能・新用量医薬品
ベクティビックス点滴静注 100 mg	がん化学療法後に増悪したKRAS G12C変異陽性の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌を効能・効果とする新効能・新用量医薬品
ジャイパーカ錠50 mg・ 100 mg	他のBTK阻害剤に抵抗性又は不耐容の再発又は難治性の慢性リンパ性白血病（小リンパ球性リンパ腫を含む）を効能・効果とする新効能医薬品

以上

2025年10月 DI室



岡山労災病院

DIニュース 11 月号



院内新規採用薬

薬品名	効能・効果
リンデロン懸濁注	関節リウマチ、関節周囲炎、腱炎、腱鞘炎、腱周囲炎、滑液包炎、変形性関節症、外傷後関節炎、円形脱毛症、早期ケロイド及びケロイド防止、アレルギー性鼻炎

「院外専用」採用薬

薬品名	効能・効果
ウゴービ皮下注 0.25mg ペン 1.0MD・0.5mg ペン 2.0MD・1.0mg ペン 4.0MD・1.7mg ペン 6.8MD・ 2.4mg ペン 9.6MD	肥満症：ただし、高血圧、脂質異常症又は2型糖尿病のいずれかを有し、食事療法・運動療法を行っても十分な効果が得られず、以下に該当する場合に限る。 ・BMI が 27kg/m ² 以上であり、2 つ以上の肥満に関連する健康障害を有する ・BMI が 35kg/m ² 以上

採用中止薬

薬品名	効能・効果	理由
ウゴービ皮下注 0.25mgSD・ 0.5mgSD・1.0mgSD・1.7mgSD・ 2.4mgSD	肥満症	ウゴービ皮下注 0.25mg ペン 1.0MD・0.5mg ペン 2.0MD・1.0mg ペン 4.0MD・1.7mg ペン 6.8MD・2.4mg ペン 9.6MD 採用時の削除薬

後発品への変更

先発品名	後発品名	効能・効果
エイゾプト懸濁性点眼液 1% (院内外)	布林ゾラミド懸濁性点眼液 1%「サ ンド」	緑内障、高眼圧症

※院外は「先発品」と「後発品」の両方処方できます

お知らせ

【 オムジャラ錠 100mg 14 錠(院外)の自主回収について(クラスⅡ) 】

安全性モニタリングにおいて溶出性が承認規格を満たさないことが確認され、自主回収となりました。本事象により重篤な健康被害が発生する可能性はないと考えられています。

代替品は 30 錠(バラ包装)です。

【 インタール吸入液 1%(院外)の自主回収について(クラスⅡ) 】

製造デモによる製造工程の適格性を確認するための試験を実施した結果、試験不適合の結果が認められました。そのため、今回実施した試験において製造工程の適格性を確認される予定であった期間に製造された出荷済の2ロットについて予防的な措置として自主回収を行うこととなりました。当該2ロットの製品品質に関しては承認規格に適合しており、本事象発生後に追加で実施した試験においても適合の結果が得られています。本事象に起因する健康被害が発生する恐れは極めて低く、現在までに本事象に関連する健康被害の報告はありません。

出荷が一時停止となりますが、供給再開の時期は最短で2026年4月を予定しています。

【 ヘパリン類似物質外用液 0.3%の一般名コード変更について 】

2025年8月14日より、ヘパリン類似物質外用液0.3%において、一般名コードが「乳剤性」と「水性」に分類されました。それに伴い、当院の採用薬品であるヒルドイドローション0.3%とヘパリン類似物質ローション0.3%「日医工」の表示も変更しました。

＜院外処方箋＞

- ヒルドイドローション0.3%→【般】ヘパリン類似物質外用液0.3%(乳剤性)
- ヘパリン類似物質ローション0.3%「日医工」→【般】ヘパリン類似物質外用液0.3%(水性)

ただし、ヒルドイドローション0.3%・ヘパリン類似物質ローション0.3%「日医工」で処方したい(他のものに変更したくない)場合は「変更不可」とすることで処方通りに処方箋に表記されます。

また、検索で表示される名称を、(乳剤性)ヒルドイドローション0.3%、(水性)ヘパリン類似物質ローション0.3%「日医工」としました。

医薬品の供給について

①販売中止

なし

②出荷停止

薬品名	採用区分	理由	予定時期	再開予定時期	代替薬	備考
アリナミンF100注	院内	ネオクリティケア 製薬破産	2025年9月	未定	チアミン塩化物塩酸 塩注50mg「フソー」	
メキシチール点滴静注用125mg	院内	ネオクリティケア 製薬破産	2025年12月	未定	なし	

③限定出荷

薬品名	採用区分	理由	開始時期	再開予定時期	代替薬	備考
イミグラン点鼻液20	院外	海外製造所からの供給量が十分でない	2025年9月16日	未定	なし	
エリスロシン錠200m g	院内外	製造委託工場における事象	2025年8月26日	未定	なし	
オルガドロン注射液3.8mg	院内	他社製品の影響	2025年9月24日	未定	なし	
サンリズム注射液50	院内	ネオクリティケア製薬破産	2025年9月	未定	なし	
ジゴシン注0.25mg	院内	ネオクリティケア製薬破産	2025年9月26日	未定	なし	在庫消尽後出荷停止2026年6月
ズファジラン筋注5mg	院内 (用時)	ネオクリティケア製薬破産	2025年9月	未定	なし	
トブラシン注60mg	院内 (用時)	アンプル製剤製造ラインの一時的な稼働停止	2025年9月24日	未定	なし	
パントール注500mg	院内	他社製品の影響	2025年9月	未定	なし	
ポリフル錠500mg	院内外	製造委託工場における事象	2025年8月26日	未定	なし	
リドカイン点滴静注液1%「タカタ」	院内	製造委託先の破産	2025年9月	未定	なし	
リベルサス錠3mg・14mg	院外	PTP包装の外観品質に係る逸脱	2025年9月29日	未定	なし	
ワゴスチグミン注0.5mg	院内 (患者限定)	ネオクリティケア製薬破産	2025年9月	未定	なし	

④供給再開

薬品名	採用区分	再開時期
1%ディブリン注キット50mL	院内	2025年8月25日
ハイカムチン注射用1.1mg	院内	2025年10月1日
リベルサス錠7mg	院外	2025年9月29日

以上

2025年11月 DI室